

東北アジア体育・スポーツ史学会第10回記念大会
(2013年7月12～15日：札幌市，定山溪ビューホテル)

口頭発表 要旨

バスケットボールのオリンピック正式種目決定に関する 李想白と Forrest C. Allen

及川 佑介*

李想白は1930年に大日本バスケットボール協会を設立させた人物であり、Forrest C. Allenは全米バスケットボールコーチ協会（1927年～）の初代会長を務めた人物である。つまり、李想白とForrest C. Allenは、同時期に各国のバスケットボール界で、中心的な役割を担っていた。両者はオリンピックでバスケットボールを正式種目にさせようと尽力したといわれている。そして、オリンピック・ベルリン大会（1936年）からバスケットボールは正式種目になったが、彼らの活動は、これまで詳細に記されていない。そこで本研究では、バスケットボールがオリンピックの正式種目に決定したことに関する李想白とForrest C. Allenの活動を考察する。主な資料としては、Forrest C. Allenが“Mr. President and Member's of the National Association of Basketball Coaches”（1935）と“The Olympic Committee on Basketball. Mr. President”（1935）宛に送った書簡と大日本バスケットボール協会の『籠球』を用いる。

* 東京女子体育大学